



柳井 正

功績 1949年山口県に生まれ、父親の経営する小郡商事に入社。そして、1984年社長に就任。第1号店を「ユニクロ」という店名で広島市に出店。90年代前半、増収増益を果たしたものの、その後苦戦を強いられる。しかし、1998年東京に出店し、CMもスポーツ用品の「ナイキ」の広告を担当した会社に制作を依頼し、シンプルさを前面にブランドイメージを演出し原宿店が若者の人気を得たことがイメージ転換の転機となり既存の郊外店にも客が殺到するようになり、第2の成長を果たす。柳井社長は「世界一のカジュアル衣料チェーンを目指す」と断言している。

経営の原理原則を貫く

良質のカジュアルを市場最低価格で販売することを目指し「原理原則の経営」に徹している。「企業が急拡大・急成長すれば、多様な業界から人が集まる。だれにでも分かる経営原則は必要。商売は組織でするもの。個人とチームの力を引き出すには、価値観の共有が不可欠」と言う。

23項目の経営理念

ユニクロには23項目の経営理念がある。「実績勝負で勝つ経営」「全社最適、全社員一致協力、全部門連動体制の経営」「公明正大、信賞必罰、完全実力主義の経営」などだ。その経営理念の重要性について、「社員のだれもが能力を発揮できる会社にするには、何のために会社が存在するのかハッキリさせないといけない。日本企業の多くは、経営理念という会社の基本部分が抜けている」とあくまで主張は明快だ。

<http://www.sanbou.net/retsuden/ya/yanai%20tadashi.htm>

メンバー